

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 上田 淳 編集者 末長 孝 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目9-1 TEL096-377-6029 FAX096-377-6030
http://kumamoto.rofuku.net/

2017年度 第 6 回 通常総会

貧困・格差のない社会に向けて助け合いの輪を

上田理事長「40%近くの非正規労働者を私たちの仲間に」

一般社団法人・熊本県労働者福祉協議会（＝県労福協）は5月19日、ホテル熊本ニュースカイで第6回（通算51回）通常総会を開き、来賓、代議員、理事会など59人が出席して開かれました。

田北副理事長の開会のあいさつの後、議長団に天草地区労福協の森川、運輸労連の山野両代議員を選出後、理事会を代表して上田理事長があいさつしました。

求められる労福協運動



支援をいただき感謝している。被災された皆さんも少しずつだが復旧復興に取り組んでおられる。震災発生があつたにも関わらず、県労福協は奨学金制度改善運動の署名活動に取り組んだし、昨秋、設立50周年記念祝賀会を開催、今春には50周年記念誌を発刊することができた。

日本社会は貧困の子どもたちが6人に1人という実態があり、生活困窮者の自立支援法が必須条件となっている。末長専務を先頭に県内自治体の聞き取り調査を実施しているが、課題も多く必ずしも順

昨年熊本地震から1年が過ぎた。被災地には全国の連合や労福協から温かい



▲議長を務めた左から森川（天草地区労福協）・山野（運輸労連）両代議員

調にっていない。規制緩和は貧困の拡大と弱者を生み出した。労福協は生活者支援を政府に要請していく運動を進める。人口減と高齢者の増加、労働人口の減が予測されているため、自助・共助・公助を柱とする労福協の果たす役割が求められている。連合の組織率は低下しており、40%近くが非正規雇用の労働者だ。この人たちを輪の中に入れ、連帯と協同の労福協運動の活性化と福祉事業団体の利用促進を目指そうと訴えました。

経過報告、方針案を承認

続いて蒲島知事、大西熊本市長の祝辞を来賓が述べた後、総会成立が宣言されました。

次に末長専務が活動報告を行い、解散した熊本住宅生協から1200万円が熊本県自然災害遺児救援会



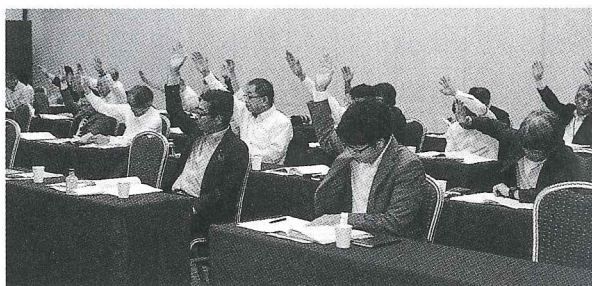
▲県商工観光労働部
石元労働雇用創生課長



▲熊本市経済観光局産業部
増田経済政策課長

に贈られたことや、昨年1年間の特徴的な活動、福祉事業体の諸活動が報告されるとともに、九州は全国より早く人口減と高齢化が進むことが懸念されている報告もあり、これらは満場一致承認され、2016年度の決算報告と同監査報告、収支剰余金処分についても満場一致承認されました。

2017年度の活動計画案に対して、荒尾玉名・鹿本地区労福協の勢田代議員からの、労福協運動を推進するため若手の育成を、という要望も積極的に取り組んでいくと答弁があり承認され、また予算案や役員改選などの諸議案も満場一致で承認されました。



▲各議案に対して挙手で承認する代議員の皆さん

2017年度 事業計画

連合と労福協・福祉事業団体の相互信頼の深化を 労働者福祉運動を担う人材育成と教育活動の推進



2017年の事業計画は、大きく分けて2つあります。一つは県労福協の活動計画、もう一つは福祉事業団体の活動計画です。これらは末長専務が提案し、要望も含めて承認されました。

県労福協 主要(重点)課題と継続的な取り組み

1 重点課題について

- 各級機関のリーダーが、福祉事業団体の設立理念を理解し、率先利用により相互の信頼関係を深め、その成果を労働者・生活者全体の福祉向上につなぐ運動の展開。具体的には連合・労福協の合同研究集会などで福祉事業団体の現状と課題を理解し、構成団体の末端まで訴えていきます。
- 奨学金制度改善と格差・貧困の是正については、引き続き中央労福協や南部労福協と連携していく。また、低賃金労働者や低年金高齢者が増えている中、セーフティネットの更なる充実強化と、生活困窮者自立支援については今後も実態調査をもとに県に政策要求を行います。多重債

務対策については「県多重債務者対策協議会」のメンバーとして、労金などとの連携を強化していきます。

- 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育活動の取り組みは、労福協運動の歴史と理念を若年層へ浸透させ、活動への参加と活性化を推進します。また、連合や福祉事業団体、各地区労福協と連携して、次世代を担う人材育成のためのセミナーを開催します。

2 継続的な取り組みについて

- 勤労者の暮らしにかかるサポート事業（ライフサポートセンター）は人材や財政など、体制強化を図ります。また人材育成のために中央労福協の研修会に参加します。さらに福祉事業団体との連携や、認知度アップに向けた幅広い周知を図ります。
- 地区労福協は連合地協と連携して、自治体要請行動に取り組みます。また文化・スポーツなどの活動や、労働者福祉運動の歴史や理念のセミナーを開き、次世代の育成を進めます。地区労福協の再編は期限を区切らず、条件が整ったところから目指します。
- 連合や退職者・高齢者などとの連携

強化をより一層推進します。

- 中央労福協や南部労福協が主催する研修活動には積極的に参加します。
- 県自然災害遺児救援会の財政基盤の確立、熊本地震など災害被災支援活動など、引き続き取り組みます。

3 福祉事業団体の活動計画

- 九州労金熊本県本部の今年度の営業推進方針は「がんばろう熊本・広げようろうきん」をメインテーマに、発展的復興に寄与していきます。
- 全労済熊本県本部は、2014～2017年度中期経営政策の最終年度として、最重要目標の「事業の回復」と「常に健全な事業基盤の確立」をめざします。また2017年9月に「全労済創立60周年」熊本労済は2019年3月に「創立60周年」を迎えますので、連続した2年間の事業活動を展開します。
- ユニオントラベル熊本は、会員サービスの向上と安心・安定・信頼を基本に、認知度拡大やスキルアップ、手配ミスゼロをめざします。
- 秋津レークタウンクリニックは、在宅医療の充実、主治医機能の強化、産業医活動の強化、指定居宅介護支援事業所「あれつく」の役目推進。

熊本県労働者福祉協議会役員選考基準を一部改正

今回の総会では「県労働者福祉協議会役員選考基準（改正案）」が提案され、満場一致で承認されました。

1. 労福協・事業体への役員選考基準

について、①役員の定年制は学齢で括り、前年の4月2日から当該年（1年後）の4月1日までに65歳に到達したものは、次の総会で退任とする。非常勤役

員も同様とする。（注・総会の実施時期次第では満66歳で退任の場合もある）。なお詳しくは県労福協事務局におたずねください。

2017年度 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会理事会役員

役職名	氏 名	選出団体	備考	役職名	氏 名	選出団体	備考
理事長	上田 淳	連合熊本		理 事	境 徳幸	連合熊本	
副理事長	矢野 良輔	連合熊本	新任	理 事	園田 海舟	連合熊本	
副理事長	手嶋 一弘	福祉事業団体		理 事	熊谷 行雄	連合熊本	新任
副理事長	田川 仁	福祉事業団体		理 事	山野雄一郎	連合熊本	新任
専務理事	末長 孝	連合熊本		理 事	野田 淳	福祉事業団体	
理 事	梶田 秀治	連合熊本		監 事	児玉 智勝	連合熊本	新任
理 事	佐々木義博	連合熊本		監 事	石井 雅臣	連合熊本	
理 事	友田 孝行	連合熊本		監 事	吉本 安則	福祉事業団体	
理 事	山本 寛	連合熊本					

長い間お疲れ様でした!4氏が退任



今総会では4人の方が退任しました。

田北尚勝副理事長、今村賢治理事、田中広幸理事、島崎真監事は、それぞれの想いを語り、各構成組織や福祉事業団体の協力に対して謝辞を述べました。一般社団法人移行や住宅生協の解散など、ご苦労が多い時でした。本当にお疲れ様でした。

期待しています!選出された新役員3氏

退任役員の後任として、副理事長に矢野良輔氏、そして新たに理事として熊谷行雄氏、同じく山野雄一郎氏が、また監事には児玉智勝氏が選ばれ承認されました。労働者福祉運動や、次世代の育成など、県労福協が抱える課題と目標に向かって、新役員の皆さんの活躍が期待されます。



県労福協が「設立50周年記念誌を発行」



県労福協は2012年に一般社団法人に移行し今年で6回目の総会を迎えましたが、通算すれば設立50周年となりました。過去、30年史、40年史が発行されていますが、今回も「設立50周年記念誌」を発刊しました。ぜひ手に取ってご一読ください。

5月22日 チャリティーゴルフコンペ開く

2017年5月22日(月)に「熊本県自然災害遺児救援会支援・労福協・事業体チャリティーゴルフコンペ」をアツまるレークカンツリーで開催し、34組(134人)のチャリティー参加費134,000円を、熊本県自然災害遺児救援会に寄付しました。本年は一部産別の諸事情で参加できなかった団体もあり、例年より参加者が減少しましたが、参加された皆さんは、快晴の中でのプ



レーを通じて懇親と連帯が図られたのではないのでしょうか。開催にあたり参加者の皆さんや各団体のご協力ありがとうございました。

煙

安倍内閣の暴走が止まらない。「秘密保護法」「集団的自衛権の行使を可能とする安全保障関連法」の強行採決と成立、そして2020年に憲法改正をとという発言、オリンピックを利用した「テロ等準備罪」という名の、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ「組織犯罪処罰法」改正案の衆院強行採決、一方では「森友学園」問題に加えて「加計学園」問題も浮上した■労働者福祉運動を取り組んでいる立場からすると、非正規雇用労働者が約40%にのぼっていることや、過労死に象徴される過酷な労働実態、一人親世帯の増加と、



子どもの6人に1人は貧困家庭という現実、そして低年金の高齢者の増加や生活保護世帯の増加など、国民の生命と福祉、暮らしを守るという政策を、安倍内閣はおざなりにしている。「アベノミクスは成果を挙げている」と言うが、だれも信用していない。安倍総理の眼中には、日々の暮らしを少ない収入で必死に生きている多くの国民の実情や実態は視野の外にある■貧困家庭や労働過重、雇用不安を抱えたまま働いている非正規雇用労働者、低年金の高齢者世帯などには目もくれず、「国民主権」でなく「国家主義」の思想で日本を造り直そうとする安倍政治に未来は暗くなるばかり■福祉運動をすればするほど、歯がゆい思いが強くなるが、逆に闘志も湧いてくる。

熊本県自然災害遺児救援会が「防災・減災」の絵本を小学校に贈る

熊本県自然災害遺児救援会は設立されて18年余となりました。2012年には災害救助犬の育成に寄与し、その活躍が災害遺児の発生を防ぐという観点からNPO法人九州救助犬協会に賛助

金を寄付しました。さらに2016年の熊本地震では、災害遺児を発生させないために、学んでいただくという観点から、2017年3月29日、熊本県教育庁を通じて県内の小学校に「防災・減

災」などの絵本を贈呈しました。

また、震災関連死が5月23日現在171人となりましたが、給付対象が2件（遺児4人）発生したことから、救援会では給付金の贈呈を決定しました。



2017年3月29日、小学生向けの「防災・減災」の絵本を県教育庁に贈呈しました



くまもと宮尾教育長（左）はし右はしは田嶋副知事

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりが
かけがえのない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています

■診療科目／内科、小児科、リハビリテーション科、居宅介護支援事業

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00
土曜日／1:30～3:00
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

ユニオントラベル熊本からあなたへ

ユニオントラベル熊本 夏の特選ツアー

出発日：2017年9月16日(土)
かわせみ・やませみで行く人吉のんびり散策ツアー

●ご旅行代金(お一人様・税込)

大人 8,500円 小学生 7,000円

(最少催行人員35名)

幼児の方で座席が必要な方は小学生と同額になります。

出発日：2017年7月29日(土)
JALスカイビューシートで観戦するヤフオクドームプロ野球ツアー

旅に出たくなるような「開放感溢れる」空間と、テラス形式の観戦シートで、ゆったりと野球観戦をお楽しみいただけます。
20種類以上のビューッフェ形式のお食事とデザートと野球観戦チケットがついて

●ご旅行代金(お一人様・税込)

大人・小学生 9,800円

(最少催行人員40名)

幼児の方で食事や座席が必要な方は小学生と同額になります。

その他に「ハウステンボス世界花火大会への旅」と「世界遺産三角西港とねこの島湯島チャータークルーズ」がございます。
詳しくはお問合せ下さい。

お問い合わせは



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022

FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺4丁目1-8-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

編集後記

労福協第51回通常総会で、今年度事業計画が承認されました。本年度の取り組みは2面に記載しておりますのでご一読ください。今回は役員改選期を迎え新理事2人、新監事1人が選出され、理事会17人体制が承認されました。引き続き労働者福祉運動の継承と発展のために理事会・幹事会・各地区労福協が連携を深め各種活動に取り組みますのでご協力をお願いします。熊本地震から1年が経過、熊本城の復元をはじめ、依然として道路や鉄道など、一部の主要インフラ整備が残っており、早急な復旧が望まれるところです。また、多くの被災者の自宅再建の見通しも厳しい状況に置かれています。労働者福祉運動の一環として、熊本県自然災害遺児救援会や福祉事業団体が被災者支援活動が行われており、私たちの運動を通じて「連帯・共助」の理念の継承を実践していきましょう。